

# 令和2年度第二回 我孫子市消防審議会 会議資料



開催日時：令和3年3月22日（月）

19時00分から

開催場所：我孫子市消防本部2階大会議室

# 議題 1

## 職員人件費の動向及び新任職員の経費



## 1 職員人件費の動向（一人当たり）

単位：千円

平成29年度	平成30年度	令和1年度
6,722	6,703	6,618

★ 給料、職員手当、期末・勤勉手当を含む

## 2 消防職員の初任給（令和2年4月1日現在）

単位：円

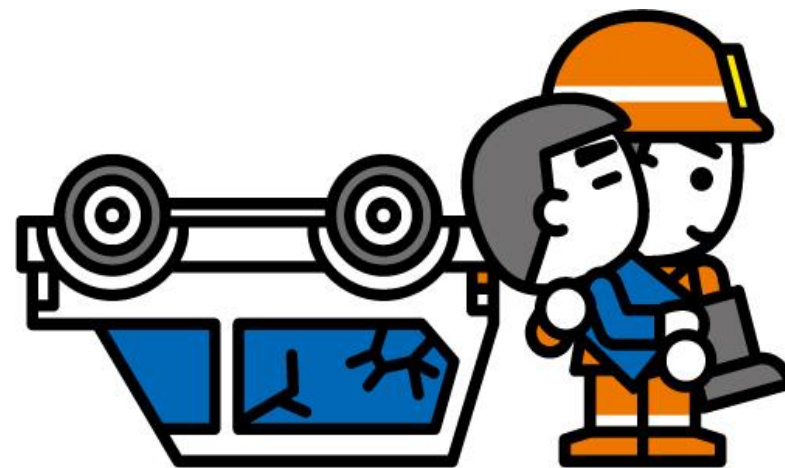
大卒	短大卒	高卒
188,700	171,700	160,100

## 3 消防職員（1年目・令和2年度水準）の年間必要経費の概算（一人当たり）

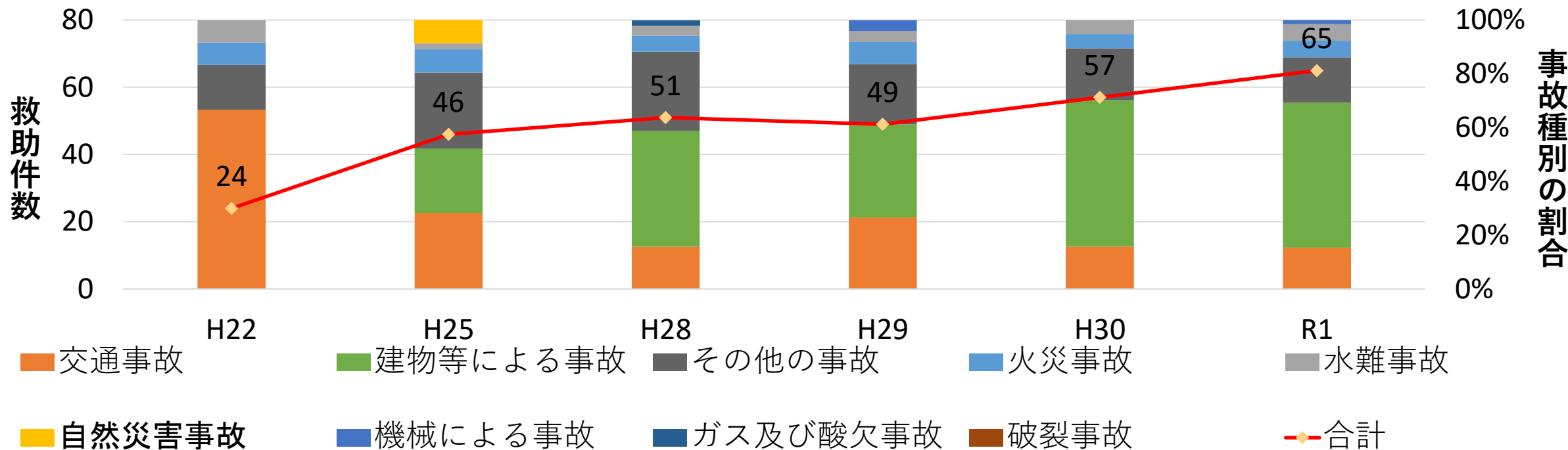
項目	大卒	短大卒	高卒	備考
給与	3,073,560	2,796,662	2,607,720	給料、地域手当、期末・勤勉手当
貸与品		470,000		防火衣・活動服・制服等の貸与品
入校経費		381,000		千葉県消防学校初任科入校経費
合計	3,924,560	3,647,662	3,458,720	時間外・夜間勤務、特殊勤務等職員手当は含まず

## 議題 2

# 救助出場について

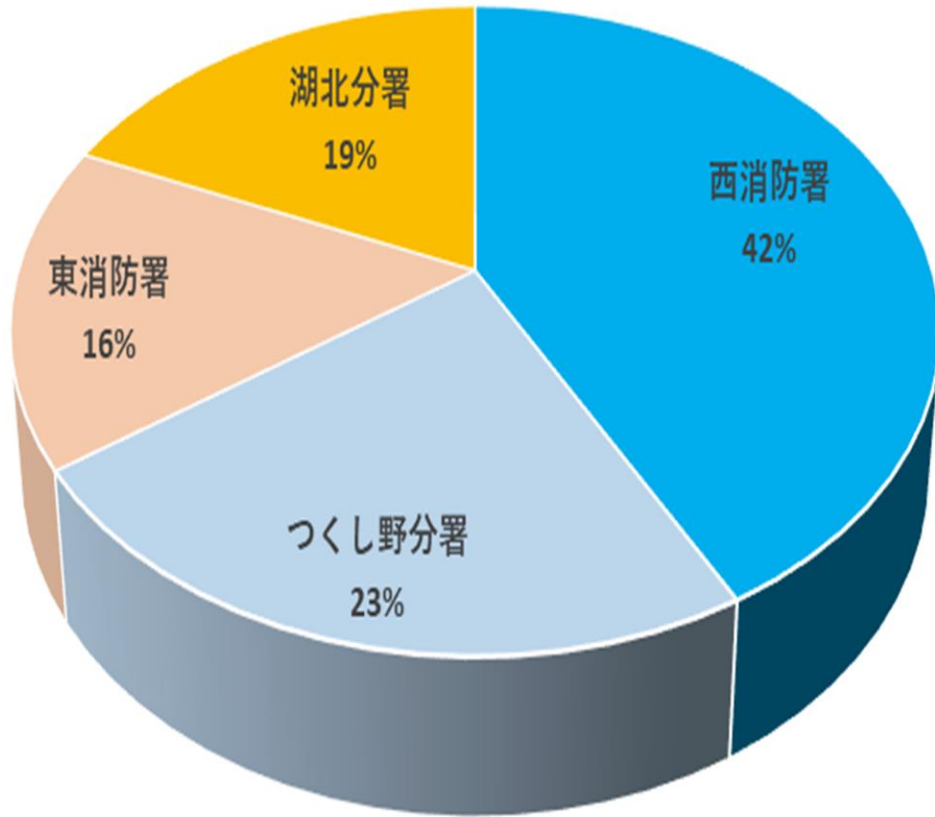


# 1 救助件数に対する事故種別の割合



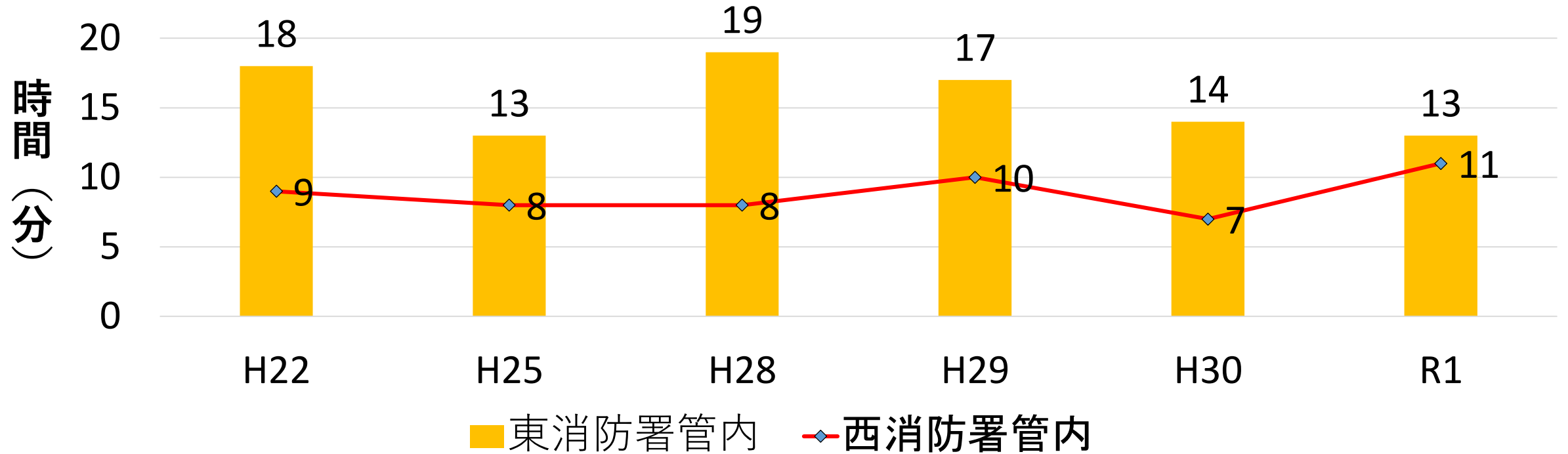
救助件数	火災事故	交通事故	水難事故	自然災害 事故	機械によ る事故	建物等によ る事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他の 事故	合計
H22	2	16	2	0	0	0	0	0	4	24
H25	4	13	1	4	0	11	0	0	13	46
H28	3	8	2	0	0	22	1	0	15	51
H29	4	13	2	0	2	17	0	0	11	49
H30	3	9	3	0	0	31	0	0	11	57
R1	4	10	4	0	1	35	0	0	11	65

## 2 救助件数に対する管轄割合



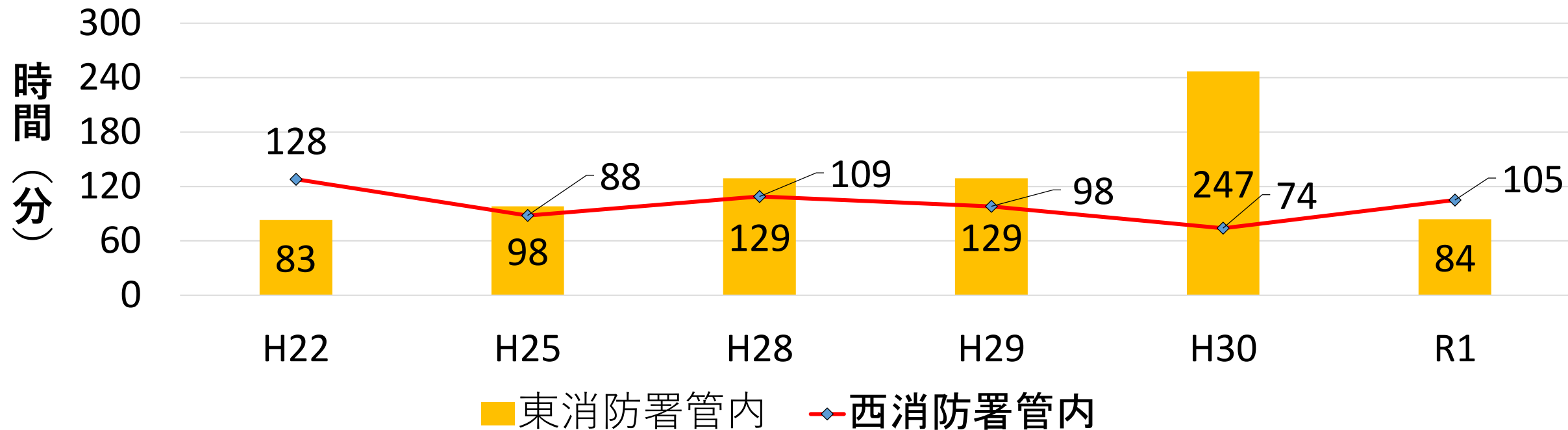
	西署	つくし野分署	東署	湖北分署	合計
H22	11	5	3	5	24
H23	15	7	1	2	25
H24	14	9	7	3	33
H25	21	9	8	8	46
H26	20	8	6	8	42
H27	15	4	7	3	29
H28	19	14	7	11	51
H29	19	10	8	12	49
H30	23	10	13	11	57
R1	20	22	8	15	65

### 3 救助隊が出動から現場到着までに掛かった時間



	西消防署管内	東消防署管内
H22	9	18
H25	8	13
H28	8	19
H29	10	17
H30	7	14
R1	11	13

## 4 救助隊が出動から帰署するまでに掛かった時間



	西消防署管内	東消防署管内
H22	128	83
H25	88	98
H28	109	129
H29	98	129
H30	74	247
R1	105	84

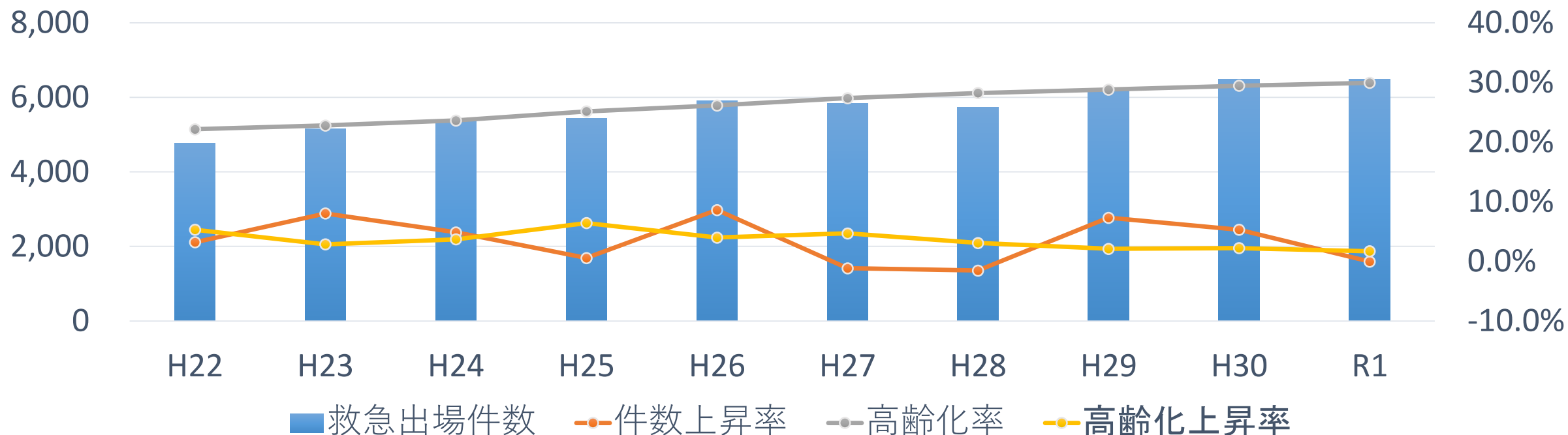


# 議題 3

## 救急出場について

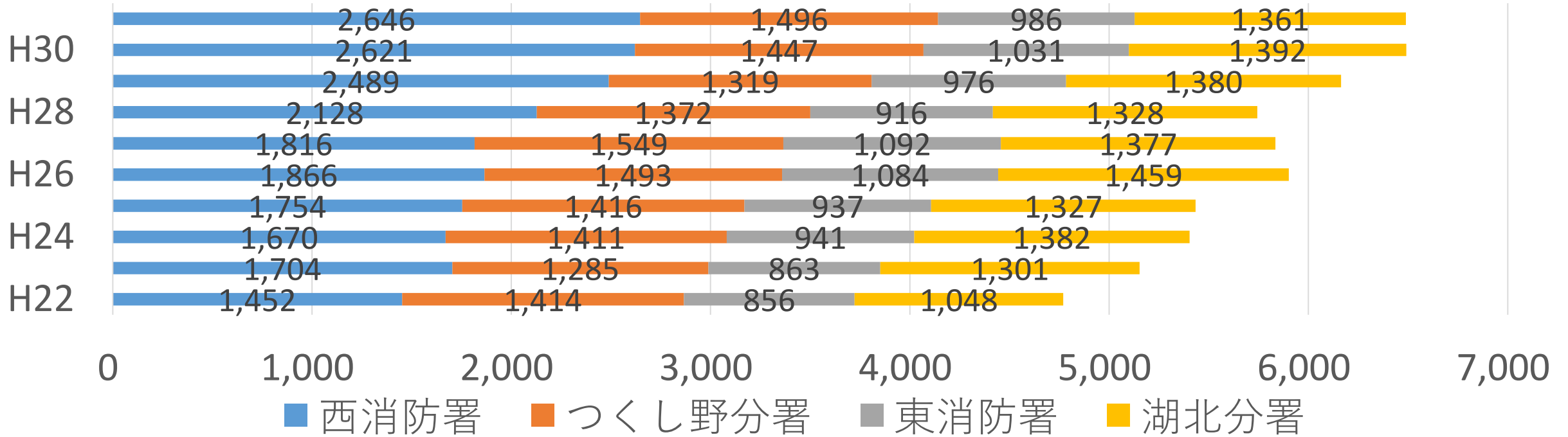


# 1 救急出場件数と高齢化率の推移



項目	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
救急出場件数	4,770	5,153	5,404	5,434	5,902	5,834	5,744	6,164	6,491	6,489
件数上昇率	3.2%	8.0%	4.9%	0.6%	8.6%	-1.2%	-1.5%	7.3%	5.3%	0.0%
高齢化率	22.2%	22.8%	23.6%	25.1%	26.1%	27.4%	28.2%	28.8%	29.4%	29.9%
高齢化上昇率	5.3%	2.8%	3.7%	6.4%	4.0%	4.7%	3.1%	2.1%	2.2%	1.7%
人口	136,161	136,217	135,488	134,172	133,665	133,216	132,853	132,619	132,388	132,216
日平均件数	13.07	14.12	14.81	14.89	16.17	15.98	15.74	16.89	17.78	17.78

## 2 署所別出場件数の推移

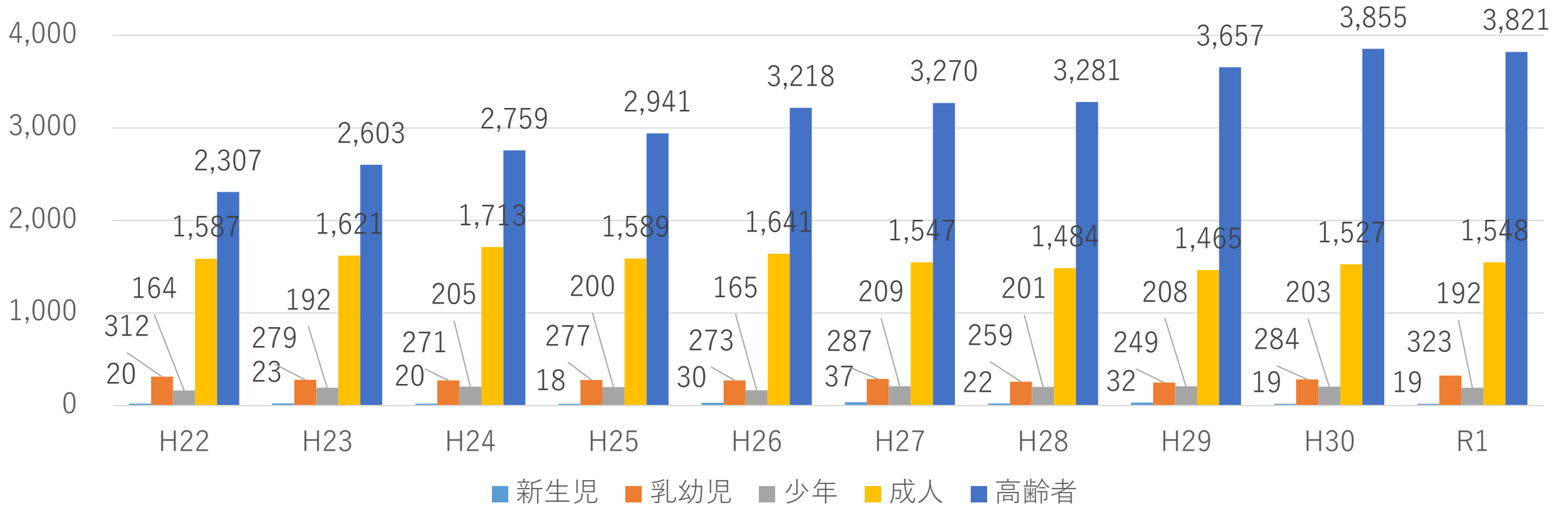


所属	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
西消防署	30.4%	33.1%	30.9%	32.3%	31.6%	31.1%	37.0%	40.4%	40.4%	40.8%
つくし野分署	29.6%	24.9%	26.1%	26.1%	25.3%	26.6%	23.9%	21.4%	22.3%	23.1%
東消防署	17.9%	16.7%	17.4%	17.2%	18.4%	18.7%	15.9%	15.8%	15.9%	15.2%
湖北分署	22.0%	25.2%	25.6%	24.4%	24.7%	23.6%	23.1%	22.4%	21.4%	21.0%
合計件数	4,770	5,153	5,404	5,434	5,902	5,834	5,744	6,164	6,491	6,489
日平均件数	13.07	14.12	14.81	14.89	16.17	15.98	15.74	16.89	17.78	17.78

2021/3/22

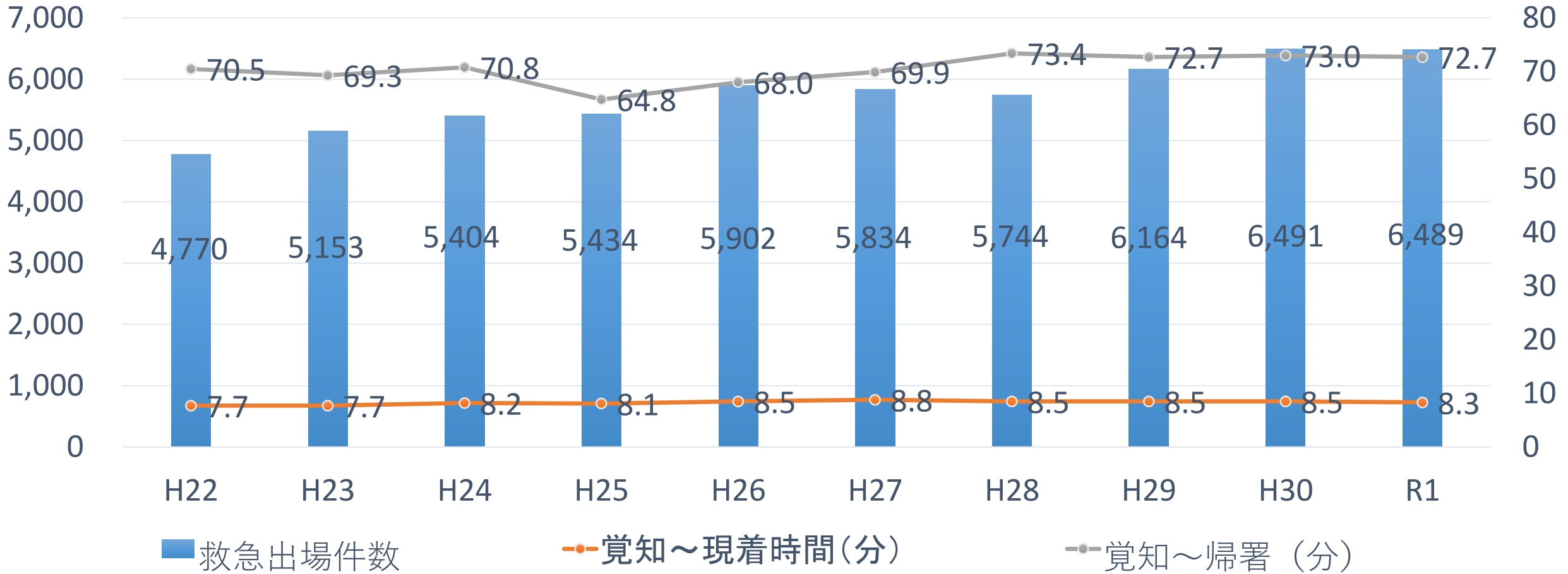
11

### 3 年齢別搬送人員の推移



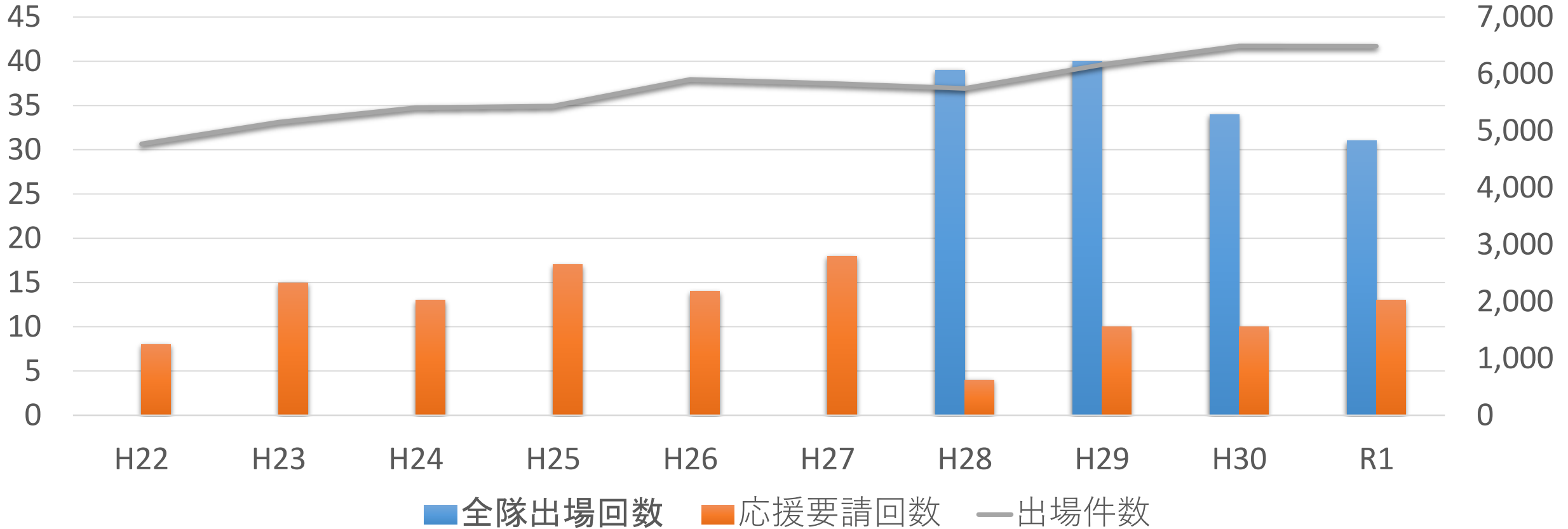
年齢区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
新生児	0.5%	0.5%	0.4%	0.4%	0.6%	0.7%	0.4%	0.6%	0.3%	0.3%
乳幼児	7.1%	5.9%	5.5%	5.5%	5.1%	5.4%	4.9%	4.4%	4.8%	5.5%
少年	3.7%	4.1%	4.1%	4.0%	3.1%	3.9%	3.8%	3.7%	3.4%	3.3%
成人	36.2%	34.4%	34.5%	31.6%	30.8%	28.9%	28.3%	26.1%	25.9%	26.2%
高齢者	52.6%	55.2%	55.5%	58.5%	60.4%	61.1%	62.5%	65.2%	65.5%	64.7%

## 4 「覚知～現場到着」・「覚知～帰署」時間と出場件数の推移



項目	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
救急出場件数	4,770	5,153	5,404	5,434	5,902	5,834	5,744	6,164	6,491	6,489
覚知～現着時間(分)	7.7	7.7	8.2	8.1	8.5	8.8	8.5	8.5	8.5	8.3
覚知～帰署(分)	70.5	69.3	70.8	64.8	68.0	69.9	73.4	72.7	73.0	72.7

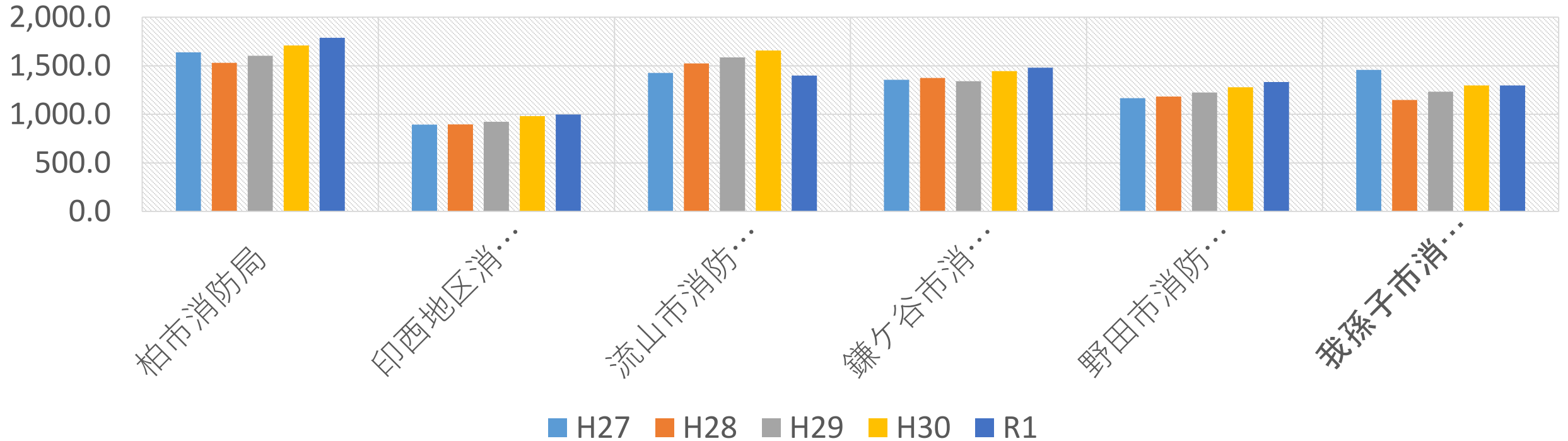
## 5 全隊出場回数と応援要請回数の推移



項目	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
全隊出場回数							39	40	34	31
応援要請回数	8	15	13	17	14	18	4	10	10	13
出場件数	4,770	5,153	5,404	5,434	5,902	5,834	5,744	6,164	6,491	6,489

※ 平成28年から救急隊の5台運用を開始

## 6 近隣市との1隊あたりの出場件数比較



所属	H27	H28	H29	H30	R1	救急台数
柏市消防局	1,637.6	1,531.0	1,603.8	1,709.9	1,787.4	H28～ 12台
印西地区消防組合消防本部	893.7	897.1	923.9	981.6	997.7	7台
流山市消防本部	1,426.8	1,523.4	1,587.4	1,657.8	1,399.7	H31～ 6台
鎌ヶ谷市消防本部	1,356.5	1,375.0	1,342.3	1,445.3	1,480.0	4台
野田市消防本部	1,167.2	1,183.3	1,224.3	1,278.8	1,333.0	6台
我孫子市消防本部	1,458.5	1,148.8	1,232.8	1,298.2	1,297.8	H28～ 5台

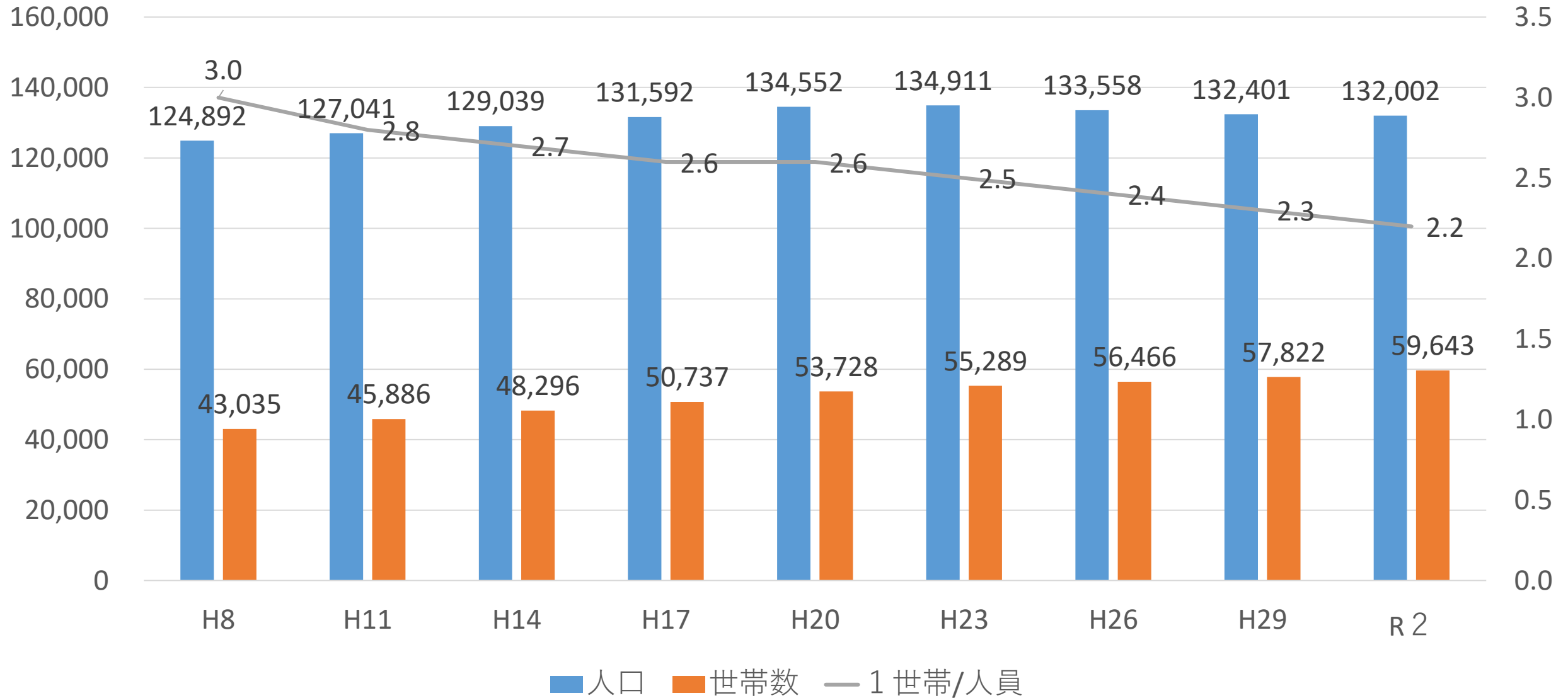
# 參考資料

## 我孫子市人口等資料

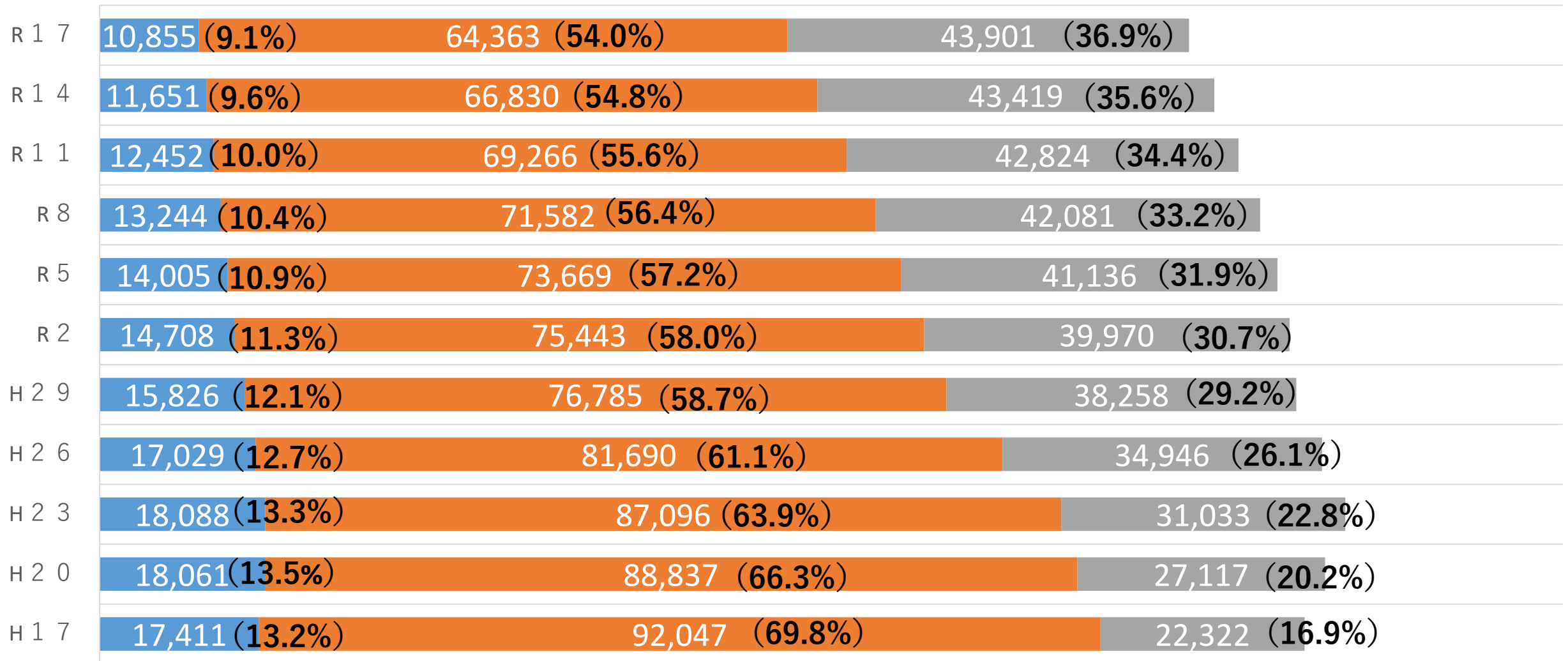




# 1 人口・世帯・世帯人員の推移



## 2 年齢別人口の推移「H15～R2」・推計「R5～R17」

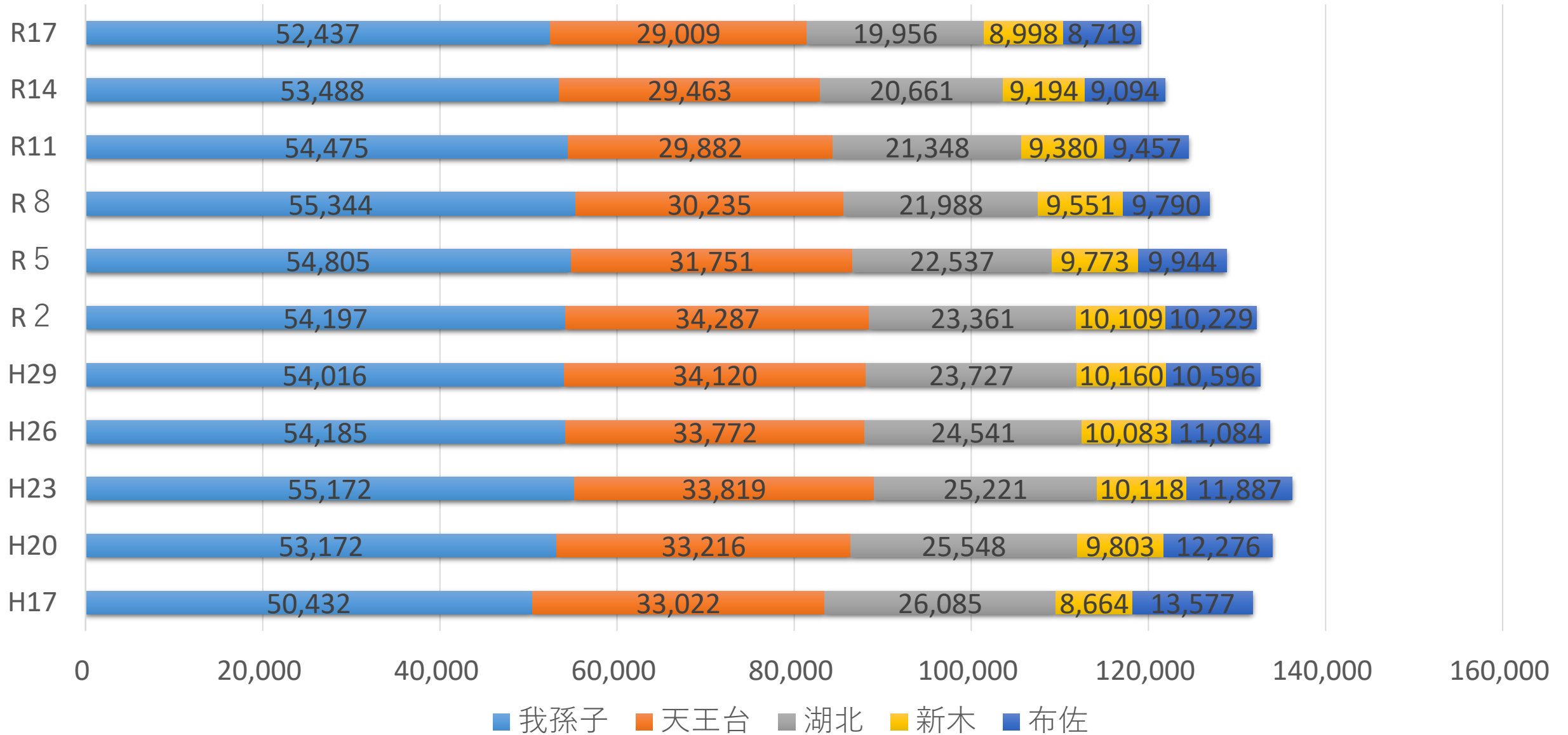


■ 年少人口

■ 生産年齢人口

■ 高齢者人口

### 3 地区別人口データ「H17～R2（推移）・R5～R17（推計）」



# 議題 4

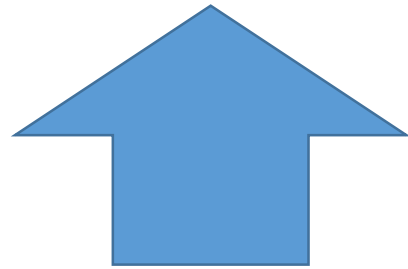
## 救助・救急出場における課題と強化策について



# 1 距離的・時間的課題と強化策（案）

## （救助隊）

救助隊の配置が西消防署のみとなるため、特殊な救助資器材を必要とする事案に対する現場到着時間や根本的な活動開始時間を短縮する必要がある。

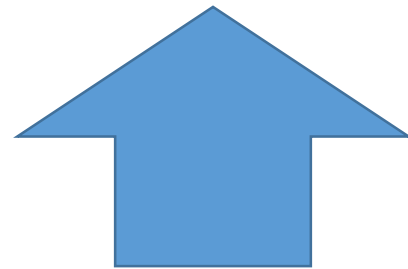


救助隊を市の中央に位置する湖北分署に増隊することにより、人や建物が比較的多く、災害件数の多い西消防署管内も補完するとともに、東消防署管内における早期の現場到着と活動開始を担保する。

## 2 - 1 件数的課題と強化策（案）

### （救助隊）

救助隊の配置が西消防署のみである中で、近年、救助件数が増加傾向にあることから、救助出場が重なるリスクも高くなっており、現状の場合には、管轄警防隊で被害拡大防止措置を取るとともに、限定された資機材での救助活動になることが予測されることから、救助を専門とする部隊の増強が必要である。



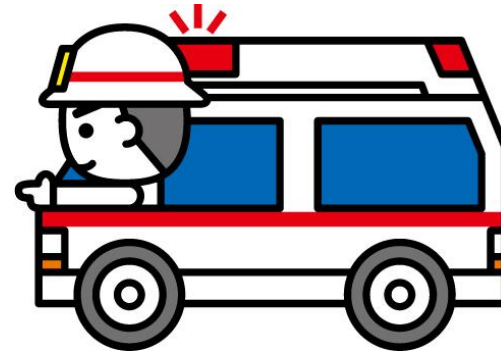
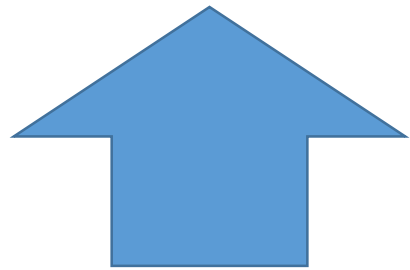
市の中央に位置する湖北分署に救助隊を増隊することにより、重複した災害に対応することが担保されるとともに、お互いに補完し合えることから、1隊のみでは時間を要する事案に対しても、専門の資機材を保有した救助隊2隊が活動可能となり、早期に対応することが担保される。

## 2 - 2 件数的課題と強化策（案）

### （救急隊）

救急隊は、平成28年度から常時5隊で運用を開始している。

件数は、その後も上昇傾向にあり、人口推計等からも今後も高齢者人口や高齢者率は上昇傾向であり、件数の増加が見込まれることから、ニーズの高い救急業務の質を低下させないため対応可能件数拡大の検討、対応が必要である。



将来的な増加（7,500件を目途）を見越し、救急隊の増隊、増員を視野に対応を進める。市の中央に位置する湖北分署に救急隊を増隊することにより、既に増強された西消防署管内の更なる担保を図るとともに、それぞれ単隊で運用している東消防署管内の対応可能件数の拡大を担保する。

## 議題 5

# 湖北分署移転、総合訓練施設等整備事業 の概要について

